

医療法人社団 順江会
介護老人保健施設
かがやきライフ江東
電話 03(3640)2111 FAX 03(3640)8050
E-mail: kagayaki@junkoukai.com

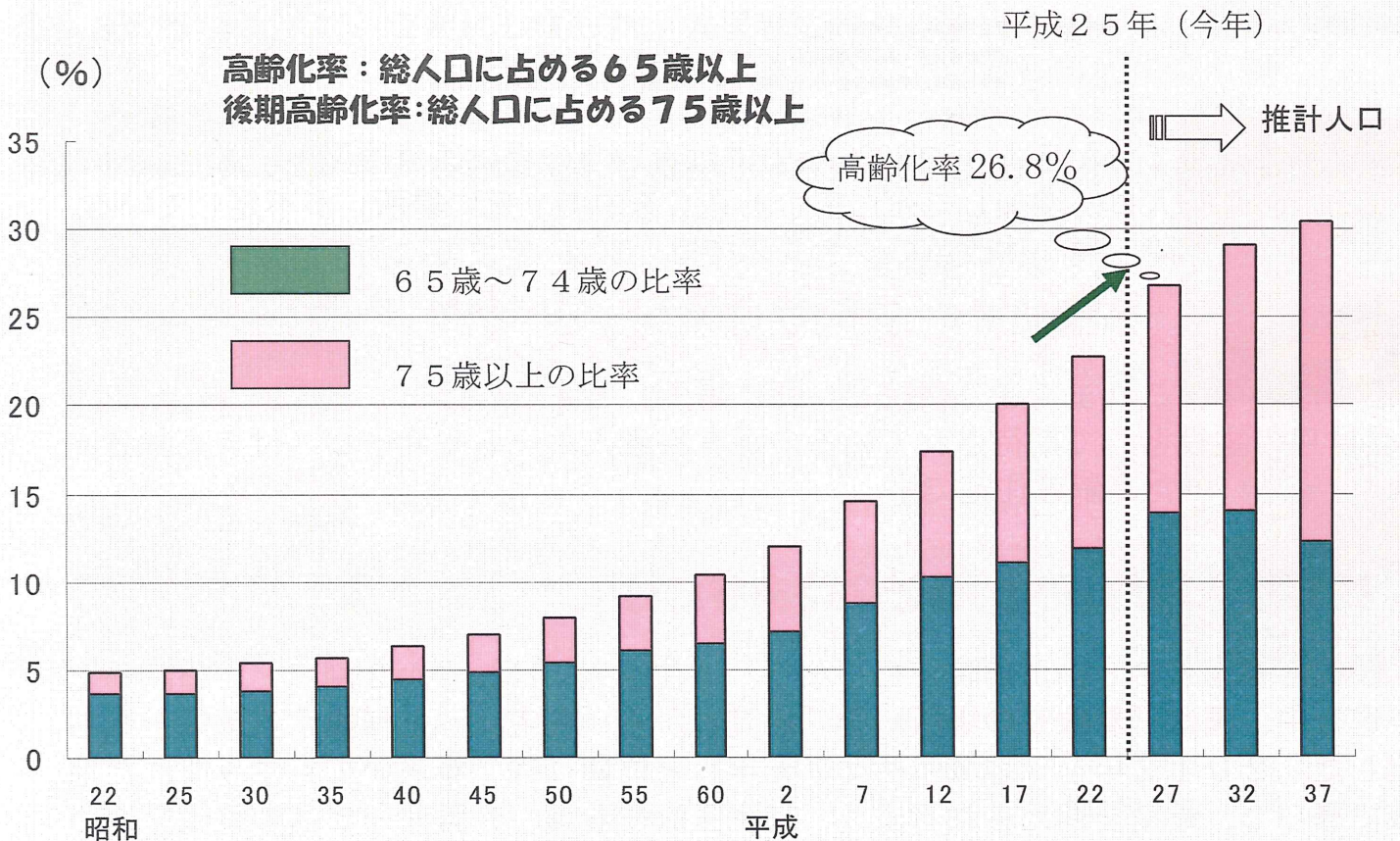
認知症高齢者グループホーム
サンライズホーム
電話 03(3640)2112 FAX 03(3640)8070
E-mail: sunrise@junkoukai.com

〒135-0051 江東区枝川3丁目8番18号

Vol. 9 平成25年06月10日発行

いっそう高まる65歳以上の人口

総務省統計局および国立社会保障問題研究所「平成24年1月推計」データ参照

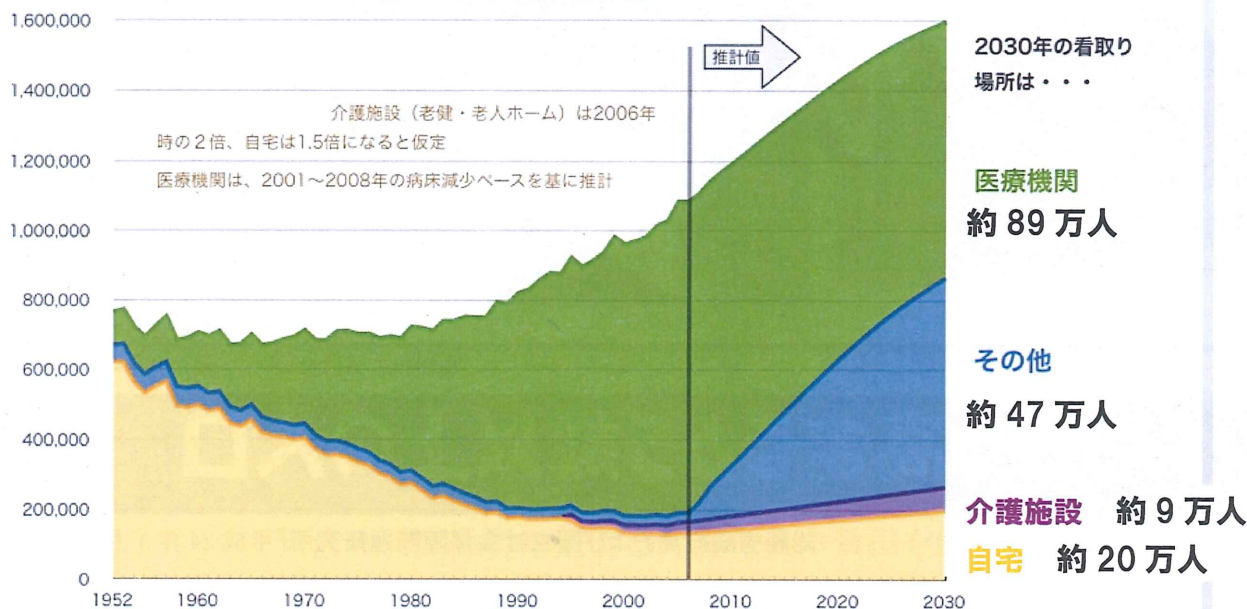


戦後生れのいわゆる「団塊の世代1947（昭和22）年～1949（昭和24）年生まれ」が65歳以上となる2015（平成27）年は、65歳以上の人口が3,395万人、高齢化率は26.8%、75歳以上の人口が1,645万人、後期高齢化率は13.0%となる見通しである。

表に見られるように、2002（平成14）年から2015（平成27）年の13年間の65歳以上の人口、高齢化率は、2015（平成27）年以降の伸びと比較して際だっている。他方、75歳以上の人口及び後期高齢化率の伸びは、2015（平成27）年以降も同様のペースで継続する。また、65歳以上の方の年間死亡数も2015年にかけて急激に増加する予想です。

人生の終末期、介護・看取りをどこで？

看取り場所別の死亡数の推計



参考資料 厚生労働省「人口動態統計」
国立社会保障・人口問題研究所「将来推計人口データベース」
全国社会保険協会連合会「社会保険介護老人保健施設の今後の在り方検討会報告書」

グラフを見て分かるように2006年頃には看取りの場は医療機関が中心となっているが、高齢人口が増加して死亡率も上昇する中で「死に場所」が不足している。政府の社会保障・税一体改革のシナリオでは、2025年までに病床数を7万床削減する方針。厚生労働省は2012年度診療報酬改定でも、長期入院患者を病院から退院させ、在宅や介護施設へ誘導する見直しを多数行った。今後病床数の増加が見込めない中、これまで通り病院を「死に場所」とするのはますます困難になる。受け皿の主演として期待されているのが有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅といった高齢者住宅です。

家で親を看取(みと)るその時あなたは

NHKスペシャルから

現在、日本人の8割が病院で亡くなり、“在宅死”はわずか2割ほど。超高齢化が進む中、国は「看取りの場所」を「病院」から「在宅」へと転換する政策を打ち出した。2012年を「地域包括ケア元年」と位置づけ、年老いても住み慣れた地域で暮らし、最期を迎えられるよう、在宅医療や看護、介護サービスの整備を進めている。「治療は終わったので病院以外で療養を」と早期退院を求められる高齢者と家族。しかし24時間対応できるヘルパーや在宅医など、在宅医療を支える社会インフラは不足し、家族は“老い”や“死”を受け入れられず、苦悩を深めている。



横浜市で診療所を開く在宅医は「これまで医療は命を延ばすためのものだった。これから必要なのは“死に寄り添う医療”だ」と。人口に占める高齢者人口の増加率が全国一の横浜市を舞台に病院や在宅医療の現場をルポして「在宅の看取り」に何が必要なのかを探っていく番組でした。

介護が必要になったときの住まいは？ 看取り場所は？

自宅で在宅サービスを利用



介護療養型医療施設（療養病床）

介護老人保健施設（老健）

介護老人福祉施設（特別養護老人施設）

ケアハウス（軽費老人ホーム）

認知症高齢者グループホーム

サービス付き高齢者向け住宅

住宅型有料老人ホーム

介護付き有料老人ホーム

在宅が困難な高齢者の施設や住宅

（介護療養型医療施設とは）

介護療養型医療施設は、長期療養が必要な要介護者を受け入れる医療機関で、介護保険の適用を受ける介護保険施設のひとつです。

政府は介護報酬削減を目的として、近い将来（2017年予定）の介護療養型医療施設の廃止を決めています。また、廃止後の利用者受け入れ施設として、2008年度に医療ケアを充実させた新型の老人保健施設「介護療養型老人保健施設」を制度化し、発足させました。しかし、介護療養型老人保健施設に入所できる利用者は、原則として医療処置の必要性が高い人に限られており、介護療養型医療施設を退所された要介護者は在宅介護で対応しなければならなくなる見込みです。これに対し、日本慢性期療養協会が厚生労働省に廃止撤廃を要望するなど、未だ関係団体の強い抵抗を受けているのが現状です。

*介護療養型医療施設は医療・看護の必要性の低い者が介護保険給付を受けながら入院しているという批判があったため、2013年3月までに廃止することになっていました。しかし、介護療養型医療施設の受け皿の整備が進んでいないため、廃止は2018年3月まで猶予されることになりました。

（サービス付き高齢者向け住宅とは）

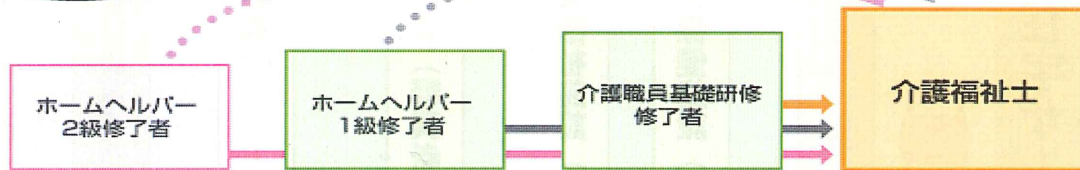
高齢化の進展に伴い、高齢の単身者や夫婦のみの世帯が増え、日常生活や介護に不安を抱く人も多い。そこで介護施設ではなく、高齢者が安心して暮らせる住宅を増やそうと、国が創設したのが「サービス付き高齢者向け住宅」だ。昨年10月から登録が始まった。高齢者用としてはこれまで、高齢者専用賃貸住宅などの制度があった。しかし、「複雑で分かりにくい」などの声があったことから、一本化した。一定の条件を満たす賃貸住宅などを、事業者が都道府県などに申請、登録される。登録戸数は8月末現在で、約6万7000戸に上る。マンションやアパートのような集合住宅内の個室で、原則として、床面積が25平方メートル以上あるほか、各部屋にはトイレや浴室、キッチンなどが備わっている。手すりが設置され、床に段差がないなど、体が不自由でも安全な構造となっているのが特徴だ。必ず提供されるのは、安否確認と生活相談のサービス。介護福祉士やホームヘルパーなどの専門スタッフが、少なくとも日中は建物内に常駐して、居室を訪ねて安否を確認したり、困り事の相談にのったりする。一方、食事の提供や洗濯、掃除といった生活支援サービスや、ヘルパー派遣など介護保険を使った介護サービスの提供や内容は、事業者ごとに異なる。「サービス付き」と言っても、必ずしも家事の援助や介護が受けられるわけではないので注意が必要だ。費用は通常、入居の際の敷金や、毎月の家賃、サービス費を支払う。長期入院や体調悪化を理由に、事業者から一方的に解約されることはない。有料老人ホームで、部屋の変更や、長期入院による退去を余儀なくされる可能性があるのに比べ、安心である。

介護職の資格が変わりました！！

2013年4月に「ホームヘルパー2級」は「介護職員初任者」に資格制度が移行しました。介護保険制度がスタートして10年以上が経過し、介護ニーズの多様化・高度化に対応するため、より質の高いサービスを提供できるように資格制度のカリキュラムが変更されました。

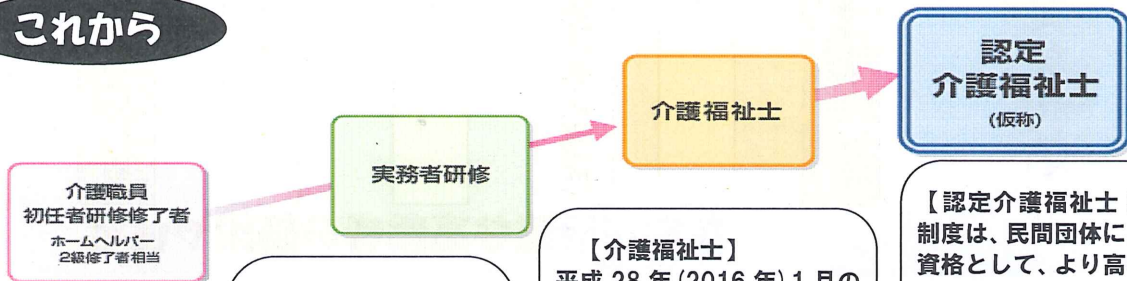
今まで

4つの研修・資格が複雑で最終目標が見えにくい



これから

キャリアパスが一本化されて最終目標が明確になった。



【介護職員初任者研修修了者】研修課程全体の時間数は「ホームヘルパー2級」と同じ130時間ですが、30時間あった施設実習が廃止となり、その分スクーリングで行う実技の時間(90時間)が増えます。

【実務者研修】「介護職員基礎研修」「ホームヘルパー1級」が一本化されたものです。450時間の受講科目があります。介護福祉士の国家試験の受験資格となります。
(実技試験免除)

【介護福祉士】平成28年(2016年)1月の介護福祉士国家試験から、受験要件として実務経験3年に加えて実務者研修修了が義務付けられます。

【認定介護福祉士(仮称)】制度は、民間団体による認定資格として、より高い実践力を認定するものです。介護福祉士養成課程を修了後、実務経験7~8年以上を想定します。

目標が見えてキャリアアップに頑張れるわ~



~これから夏場に向かい食中毒に注意しましょう~

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食物に付着し、体内へ進入することによって発生します。食中毒を防ぐ為には、細菌などを食べ物に「つけない」、食べ物に付着した細菌を「増やさない」、「やっつける(殺菌する)」という3つの事が原則となります。

<<つけない>>・・・洗う

※手には様々な細菌が付着しています。食中毒の原因菌が食べ物につかないように、次の時は必ず手を洗いましょう。

- ・調理を始める前/生の肉や魚、卵などを取り扱う前後/調理の途中でトイレに行ったり、鼻を鼻んだりした後/オムツを交換したり、動物に触れたりした後/残った食品を扱う前

<<増やさない>>・・・低温で保存する

※細菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発になりますが、10℃以下では増殖がゆっくりとなり、マイナス15℃以下では増殖が停止します。食べ物に付着した菌を増やさない為には、低温で保存することが重要です。肉や魚などの生鮮食品や惣菜などは、購入後できるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。なお、冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくりと増殖しますので、冷蔵庫を過信せず早めに食べることが大事です。

<<やっつける>>・・・加熱処理

※ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅しますので、肉や魚はもちろん、野菜なども加熱して食べれば安全です。特に肉料理は中心までよく加熱することが大事です。

目安は中心部の温度が75℃で1分以上加熱することです。

「地域と交流を持つ」ということ

サンライズホーム空 太田亜矢

先日「江東区役所」へ行ってきました。・・・と言っても、何かの手続きに行ったわけではありません。入居者9名と共に区役所に出かけてきました。私たちの事業所の理念には“地域との交流を積極的に行い・・・”とあります。また、グループホームは“地域密着型サービス”とも呼ばれています。「地域と交流を持つ」ということは、どういうことなのでしょう。



そこで私たちが住む町の区役所を訪問することにしました。入居者に‘お役所’のイメージを聞いてみると「役所なんてどこも同じようなもの」との意見がありました。

いつもお世話になっている区の職員に声をかけると「昼食を一緒にしましょうか」とのことで、区の職員3名と一緒に食事をする事になりました。区役所に到着し、まずは腹ごしらえと言うことで、8階の「江東下町食堂」へ行きました。とても綺麗でお値段もリーズナブルです。(誰でも利用可能)



到着すると、丁度お昼時で大混雑でしたが、区の職員が座席を確保してくれていたのととても助かりました。また、私たちが食券を購入している間、区の職員が利用者と話しをして待っていてくれました。



食後は、高齢者福祉の窓口が並ぶ区役所3階の案内をして下さいました。さて、肝心な入居者はどうだったかというところ、食堂の雰囲気戸惑いがあり、見知らぬ人との会話に緊張している人もいました。また、「誰だかはわからないけど偉い人？」と感じたのか、グループホームにいるときとは違い、よそ行きの表情で会話をしていました。別れる時には丁寧に立って挨拶する姿も見られました。今回、車イス4台を含む総勢15名で、食堂や3階に押しかけたので、周りの皆さんも驚いたことでしょう。地域の人たちにそんな一団を知ってもらうことで、高齢者やその事業所を知ってもらうことにもなります。「地域と交流を持つ」ということは、相手に私たちを知ってもらうということだと思います。そして、「地域に出ていくこと」、「地域に存在を発信すること」が大切だと私たちは考えています。最後に、休み時間に私たちの訪問に時間を割いて頂いた区の職員の皆様に、この場をかりて感謝申し上げます。ありがとうございました。

アベノミクスと医療・介護

アベノミクスの「3本の矢」の3番手、成長戦略の中核の一つに医療が据えられた。

■ 医療のパッケージ輸出

医療の国際展開については、医薬品や医療機器だけでなく、医療システムやサービスなどとパッケージにして東南アジアなどの新興国に輸出する考えです。裾野の広い医療関連製品やサービスなどを含めた日本の医療全体のノウハウを新興国にもたらすことによって、安定的な輸出につながります。これまで国の後押しは今一つだったが、推進組織の設立も予定されており、今後は国のバックアップも期待できます。

■ iPS細胞研究の支援

注目のiPS細胞研究への支援も国家プロジェクトとなりました。iPS細胞に代表される再生医療研究に大幅な予算が付いたり、iPS細胞の実用化を促進する再生医療推進法案の成立の見通しが立ったりするなど、次々と手が打たれています。

■ 政府は、安価な新型の介護ロボット普及に乗り出す。

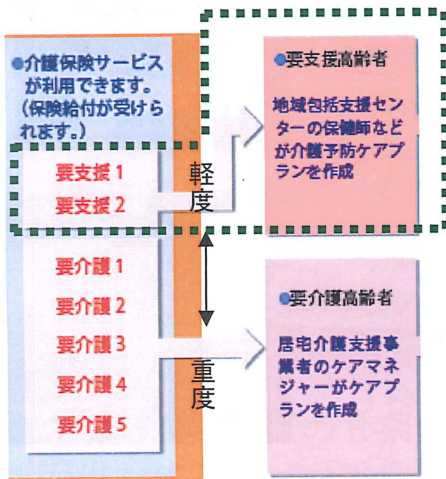
要介護者が歩くのを支えたり、高齢者を抱える介護職員の負担を軽くしたりするなど、機能を絞った10万円程度のロボットの開発を促します。さらに、介護保険の対象を広げ、これらのロボットを月数百円でレンタルできるようにします。政府は、普及策を6月にまとめる成長戦略の柱と位置づけ、介護職員不足の緩和や新産業の育成につなげる方針です。

(2013年4月28日 読売新聞)

要支援認定者の介護保険サービスを見直しへ

厚生労働省は、介護保険制度で「要支援」と認定された軽度者向けのサービスを見直す方針を決めました。**要支援認定者を介護保険サービスから外し、ボランティアなどを活用した市町村の事業で支援する方向で具体策を検討します。**介護費用の増加を抑え、市町村や高齢者の実情に応じた支援策を充実させる狙いがあります。軽度者向けサービスの見直しについては、政府の社会保障制度改革国民会議が4月22日にまとめた医療・介護分野の論点整理でも、「保険給付から市町村事業に移行すべきだ」と提案されています。要支援認定者は、介護が必要と認定された人全体の26%にあたる133万人(2010年度)。団塊世代が75歳以上となる25年度には、総費用は約21兆円に膨らみ、現在月約5000円(全国平均)の介護保険料も、8200円程度になる見込みです。

(2013年5月5日 03時01分 読売新聞)



かがやきライフ江東ではボランティアを募集しています。

募集担当窓口 磯崎 啓 (TEL) 03-3640-2111

「介護ミニ通信 つながり」事務局
 医療法人社団 順江会
 介護老人保健施設
 かがやきライフ江東 広報部発行
 二〇一三年六月一〇日



当施設は、江東区枝川に平成十七年に開設しました。利用者の方は、お祭り・もちつき大会などへのお誘いを受け、東雲運河沿いの菜園から新鮮な花や野菜を頂戴するなどして施設にいなながら変化のある生活を送ることができております。施設には医療、介護関連の専門職が多く勤務しておりますので日頃お世話になっている地域の皆様へ何らかの形で還元できればと考えております。広報誌「つながり」は数年ごとに改定される介護保険制度、高齢者介護等の情報をお届けしていきます。

施設案内
 ● JR (京葉線) 潮見駅下車徒歩十分
 ● 都営バス 枝川二丁目下車徒歩五分